

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第7部門第4区分
 【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公開番号】特開2017-103845(P2017-103845A)
 【公開日】平成29年6月8日(2017.6.8)
 【年通号数】公開・登録公報2017-021
 【出願番号】特願2015-233025(P2015-233025)
 【国際特許分類】

H 0 2 J 7/00 (2006.01)
 H 0 1 M 10/48 (2006.01)
 B 6 0 R 16/04 (2006.01)
 G 0 1 R 31/36 (2006.01)
 G 0 1 R 19/00 (2006.01)

【F I】

H 0 2 J 7/00 Q
 H 0 2 J 7/00 P
 H 0 1 M 10/48 P
 B 6 0 R 16/04 W
 G 0 1 R 31/36 A
 G 0 1 R 19/00 B

【手続補正書】
 【提出日】平成30年2月14日(2018.2.14)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0041
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0041】

ステップS302aでは具体的には、制御回路204が昇降圧回路208を介して電圧Vcを検出する。そして電圧Vcが第3閾値以上であれば補助電源の電圧は正常であり、第3閾値未満であれば正常ではないと判断される。第3閾値は、昇降圧回路208が電圧Vcを、車両負荷3への暗電流の供給を十分に行える電圧Vbにまで変換しうる、電圧Vcに対する閾値である。電圧Vcの検出は周知の技術であるので、ここでは詳細な説明を省略する。

【手続補正2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0049
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0049】

このように蓄電装置206を補助電源として用いることにより、車両が駐車中であっても電源回路203へ給電され、制御回路204の動作不全を回避し、蓄電装置1の開放時電圧が測定される。しかもステップS302a, S306の判断を採用することにより、暗電流を確保できる。